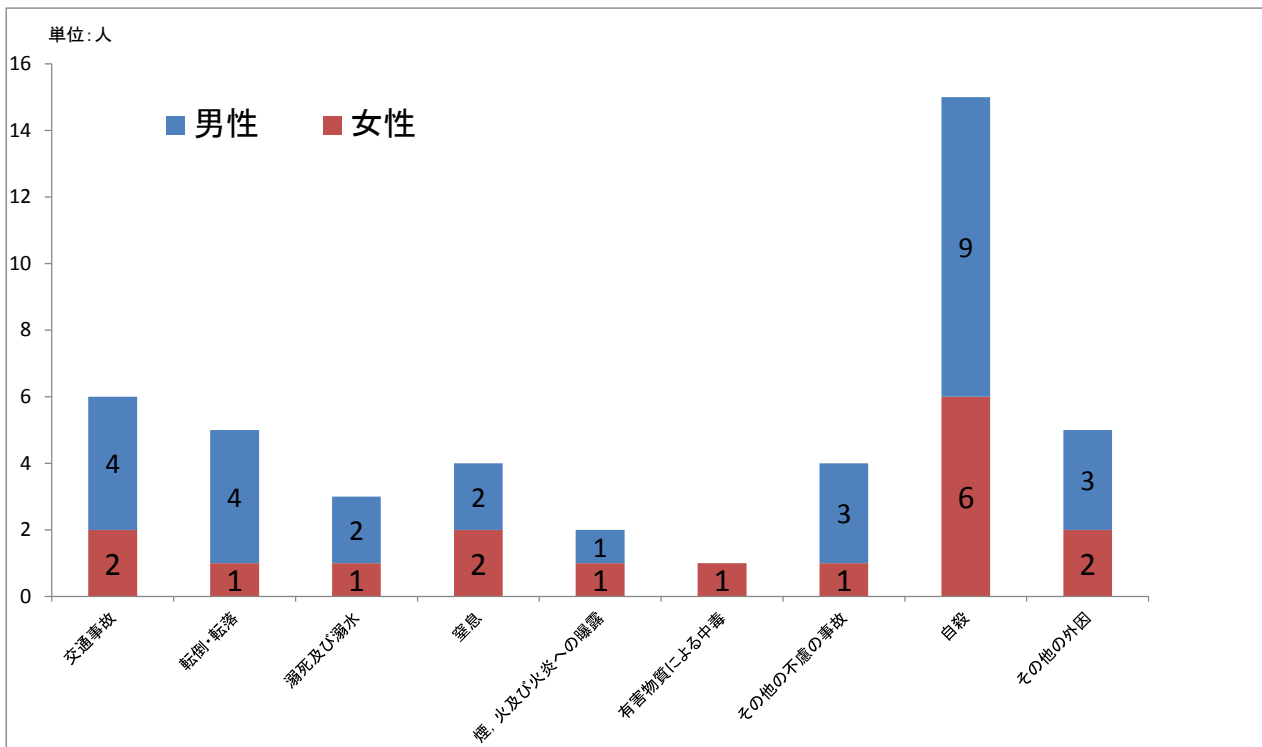


○平成29年（2017年） 十和田市における外因死亡について

表1 原因別、男女別

外因死の原因については、昨年同様、自殺が1番多く、全体の約33%を占めている。
男女別では、男女とも自殺が最も多く、男性は交通事故、転倒・転落も多い。



(厚生労働省 人口動態調査より)

表2 年代別

年代別に見ると、65歳以上の人が多く死亡しており、全体の62%を占めている。

表1の原因別で多数を占めた自殺は、10代から90代まで幅広く広がっている。次の交通事故は、65歳以上の高齢者が多いが、10代、30代でも発生している。

(単位:人)

年代	交通事故	転落・転倒	溺死及び溺水	窒息	煙及び火災への暴露	有害物質による中毒	その他の不慮の事故	自殺	その他の外因	合計
0歳～4歳				1						1
5歳～9歳										0
10歳～14歳								1		1
15歳～19歳	1									1
20歳～24歳										0
25歳～29歳								1		1
30歳～34歳										0
35歳～39歳	1									1
40歳～44歳								1	1	2
45歳～49歳								3	1	4
50歳～54歳							1			1
55歳～59歳	1							1		2
60歳～64歳		1						2		3
65歳～69歳	3	1	1					1	1	7
70歳～74歳						1	2			3
75歳～79歳				1			1	2		4
80歳～84歳		1	1	1	1			2	2	8
85歳～89歳			1	1	1					3
90歳～94歳		2						1		3
95歳～99歳										0
100歳以上										0
合計	6	5	3	4	2	1	4	15	5	45

(厚生労働省 人口動態調査より)

※数値については、厚生労働省の人口動態調査の調査票情報を利用、独自集計しているため、公表数値とは一致しない場合があります。